



市町別きく類作付面積 (a)



大崎地域での「きく類」生産

大崎地域では、きく類（輪ぎく・スプレーぎく・小ぎく）の栽培が盛んに行われており、平成 28 年産の宮城県産きく類販売額 10.8 億円のうち、約4分の1の 2.7 億円を占めています。

パイプハウスや鉄骨ハウスを使用した施設栽培のほか露地栽培も行われており、その割合は施設栽培8割、露地栽培2割となっています。施設では輪ぎく・スプレーぎくを中心に周年栽培が行われ、露地では小ぎくを中心に7月から10月にかけて栽培されています。

きく類は、お盆やお彼岸には欠かせない仏花として需要が高まるため、この時期に開花が合わせられるように電照やシェードによる日長の調整や、植物成長調整剤の使用により、開花する時期を調整しています。

大崎地域で生産されたきく類は、仙台中央卸売市場を中心に東北各地の市場や東京市場にも出荷され、全国各地で販売されています。また、大崎地域内の農産物直売所にも多数並んでおり、お盆やお彼岸シーズンには仏花の販売会が開催されるなど農産物直売所の賑わいに一役買っています。（参考資料：宮城県）